

令和5年度事業報告

認定こども園 花園

1. 質の向上

①職場環境改善への取り組み

「不適切保育に関して対話を通して学びを得る」というねらいで研修を実施する。事前に、現場で悩んでいる事・相談したい等の意見をアンケートで収集し、聞くだけの研修ではなく、みんなでレベルアップできる対話的な研修を行った。研修の結果として、悩みは全員持ち続けているもので、保育者としては成長の証であること、悩みを解決するために試行錯誤していくことが自分たちのスキルアップにつながることを確認することが出来た。

②環境構成の向上

「みあいっこ保育」を3回行った。他のクラスの保育を見る事で、年齢に対する、友だち同士の関わりや遊びの展開などを知ることが出来、その中で担任が対話的な言葉がけをしていることに気付いたり、遊びへの展開にむけての環境構成への取り組みなど工夫していること気付くことが出来た。お互いの保育をみあうことで、保育の専門性を高める機会となった。次年度も継続していきたい。

2. 収支への確保

途中入園児の受入を行い、0歳児は9名、1歳児は20名となる。
未満児に関しては職員の配置数に対する定員を満たすことができた。

3. 人材の確保

職員紹介等で職員の確保ができた。
ICTを取り入れていく中でクラスによって保護者への発信の容量が違っていたことがあり、職員間での話し合いでルールを決め、保護者とのトラブルになる前に改善することが出来た。職員の中にお互いに気付くことが出来る関係性ができている。

4. 幼老交流

年長児が朝と帰りにドアを開け、歌を歌ったり挨拶することが定着している、直接関わる交流はできなかったが、手紙を交換したり、もちつきでつくったあられをプレゼントしたりお互いの状況をみながら交流することができた。